

NEWS

New hospital of East, West and South medical centers

vol.71 | 無痛分娩を知っていますか？



Kuwana City Medical Center

2018年4月桑名東・西・南医療センターが1つになり新病院が誕生しました。

Take Free

無痛分娩を 知っていますか？

～「楽をするお産」ではなく「選べるお産」を考える～

「無痛分娩」や「和痛分娩」という言葉を耳にしたことはありますか？近年、日本でも徐々に普及が進んでおり、東京都では無痛分娩に関する費用助成を目的とした予算が組まれるなど、注目が高まっています。本記事では、無痛分娩の概要や当センターの取り組みについてわかりやすく解説します。

無痛分娩とは

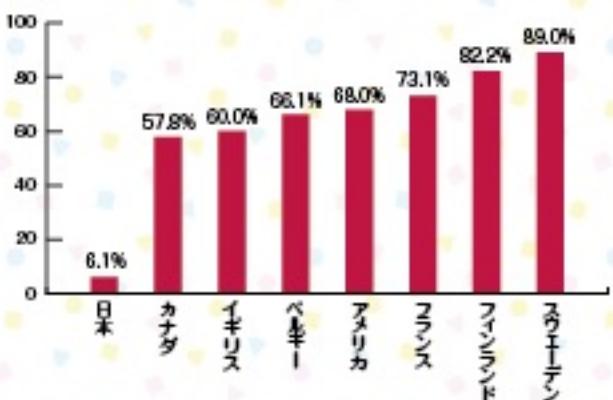
無痛分娩とは、硬膜外麻酔（通称「背中からの麻酔」）を使って出産の痛みを緩和しながら行う分娩方法です。この麻酔は、帝王切開でも使用されており、安全性の高い方法として知られています。

海外と比べた日本の現状

2016年時点の無痛分娩実施率を国別で見ると（日本産科麻酔学会「無痛分娩Q&A」より）、アメリカでは73.1%、フランスでは82.2%と高い普及率を誇ります。しかし、日本ではわずか6.1%で、2023年でも11%にとどまっています。この背景には、日本での無痛分娩の歴史が浅いことや、無痛分娩を実施できる施設数の少なさがあります。さらに興味深いデータとして、2014年にカリフォルニア州で行われた調査によれば、同州に住む日本人の無痛分娩率は66%に達していました。このことからも、日本では「無痛分娩の選択肢がない」ことが普及を妨げる要因の一つであると考えられます。

顕著な地域差

無痛分娩の普及率には地域差もあります。2023年、東京都の実施率は30%である施設では60%を超える場合もありますが、三重県ではわずか5%にとどまっています。



引用元: <https://www.jsoap.com/general/painless/q19>

無痛分娩の種類



無痛分娩には主に以下のものがあります。当センターでは無痛分娩を希望される方に対し、特殊な事情によって医師が判断をした場合を除き「オンデマンド無痛分娩」を行っています。

1. 計画無痛分娩

陣痛が来る前に入院し、計画的に麻酔を行う方法。出産日時をある程度調整できる利点があります。

2. オンデマンド無痛分娩

通常の分娩と同様に、陣痛が来てから入院し、麻酔を開始する方法。当院ではこちらを基本的に推奨しています。入院期間が短いため、費用や身体への負担が軽減される傾向があります。

3. 緊急無痛分娩

予期せず急速麻酔を行う方法です。事前に十分な準備ができないため、他の方法よりもリスクが高くなります。

無痛分娩の申し込み方法

無痛分娩を希望される方は、診察時に主治医へご相談ください。また、無痛分娩に関する各種相談にも随時対応しておりますので、お気軽にスタッフへご相談ください。

無痛分娩の進め方

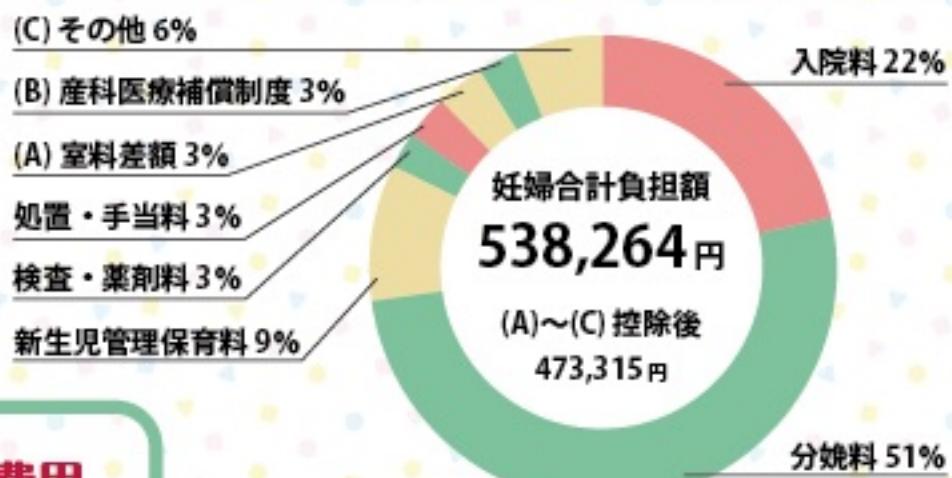
無痛分娩では、患者さんの痛みに応じて麻酔を開始します。麻酔の効果が現れるまでに30分～1時間ほどかかるため、入院や準備は余裕を持って行う必要があります。麻酔中でも陣痛の波を感じられる程度に調整され、分娩時には足を動かせるようにすることで、姿勢を維持しながら出産に臨むことができます。医師や助産師と密にコミュニケーションを取りながら進めるため、安心して出産に集中できます。

出産費用（正常分娩）

当センターにおける正常分娩による出産費用は約53万円～58万円となっています（全国平均額：538,264円<2021年度>）。ここから出産育児一時金（¥500,000）を差し引いた金額が実質的な負担額となっています（入院期間や処置内容など、患者さんによって前後します）。

主な費用（全国平均）の内訳

項目	概要	全国平均額
入院料	妊娠に係る室料、食事料。	115,776
分娩料	医師・助産師の技術料及び分娩時の看護・介助料。	276,927
新生児管理保育料	新生児に係る管理・保育に要した費用をいい、新生児に係る検査・薬剤・処置・手当に要した相当費用。	50,058
検査・薬剤料	妊娠（産褥期も含む）に係る検査・薬剤料。	14,419
処置・手当料	妊娠（産褥期も含む）に係る医学的処置や乳房ケア、産褥指導等の手当に要した費用。	16,135
(A) 室料差額	本人の希望により個室を選択した場合の費用	17,255
(B) 産科医療補償制度	産科医療補償制度の掛金相当費用	15,203
(C) その他	文書料、材料費及び医療外費用（お祝い膳等）等、上記の8項目に含まれない費用	32,491
妊娠合計負担額		538,264
(A)～(C)控除後		473,315



無痛分娩の費用

無痛分娩は全額自費診療となり、通常の分娩費用と別に以下の費用が必要になります。当センターでの無痛分娩費用は総額で65万円～70万円となっています。なお、通常の分娩費用同様に出産育児一時金50万円が保険者から支払われますので、それを差し引いた金額が自己負担額となります（15万円～20万円程度）。これらの費用は、入院期間などによって変動しますので、詳しくはご相談ください。

事前検査費用:2万円 + 無痛分娩管理料:12万円（オンドマンドの場合） = 14万円

無痛分娩の注意点

無痛分娩は、全身麻酔下での手術のように、痛みを「ゼロ」にするものではありません。体力を保つための事前準備や、分娩時に力む必要がある点は通常分娩と同じです。さらに、麻酔による影響や飲食制限（麻酔中はお茶やスポーツ飲料のみ可能）なども考慮する必要があります。通常分娩に比べ「痛みが和らぐ」と考えていただければ良いかと思います。



満足度の高い無痛分娩

当センターにおいて無痛分娩を終えた方々の満足度は96.6%、次も選びたいと答えた方は93.1%に上ります。実際に経験された方々にお話を聞かせていただきました。個人差はありますが、体力や精神面に余裕を持つ無痛分娩は、多くの妊娠さんにとって安心感と喜びをもたらす選択肢として評価されていますので、一つの方法としてご検討ください。



35歳経産

初産の時とは異なり、出産後の疲労が少なかったことで、赤ちゃんのお世話に余裕を持って取り組むことができました。



25歳初産

産後の回復が想像していたよりも早く、無痛分娩なら何人でも産みたいと思えました。



34歳経産

無痛分娩によって出産の痛みが軽減されたことで、過去の出産トラウマを克服することができました。



33歳経産

産まれる瞬間の感動をしっかりと味わうことができました。



30歳経産

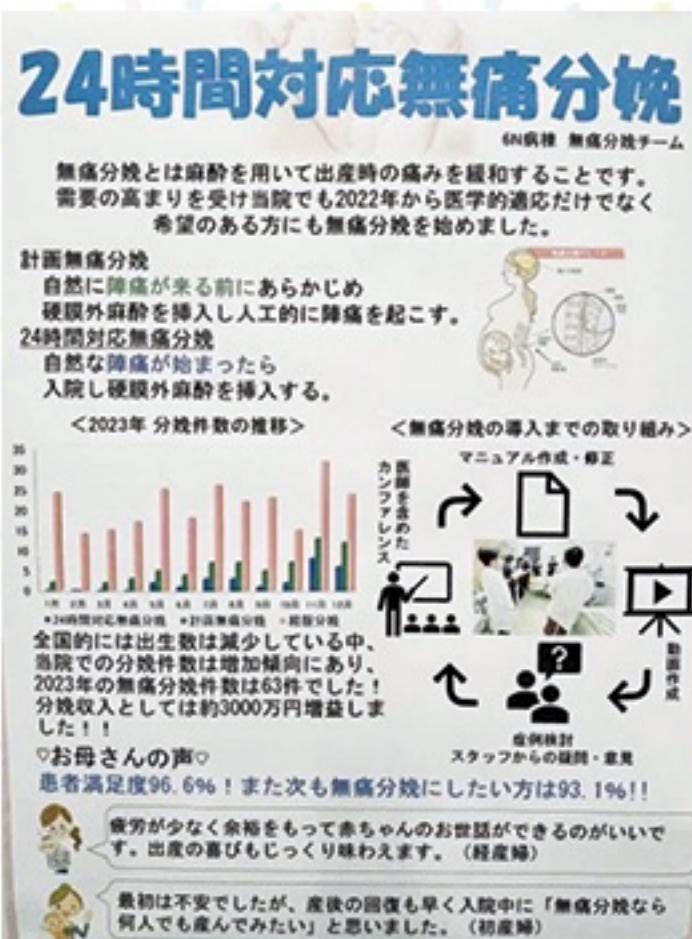
陣痛中、痛みを感じている時間は少なく、体力を温存することができました。

当センターの取り組み

当センターでは 2022 年 12 月から無痛分娩を開始し、現在は経産分娩の 40% の方が無痛分娩を選択されています。詳しい説明は当センターホームページ内の説明動画などをご覧ください。各種相談などにも対応しますので、お気軽にご相談ください。

チームによる支援体制

医師・助産師・看護師が一丸となり、安全で質の高い無痛分娩を実現するため、事前にシミュレーションを重ねてきました。現在では、365 日 24 時間対応の無痛分娩が可能です。妊婦さんの安全と健康を最優先に考え、出産のサポートを行っています。無痛分娩について詳しく知りたい方には、無痛分娩教室なども開催しています。お気軽にご相談ください。



快適な入院環境

産婦人科病棟では、助産師 22 名、看護師 5 名が妊婦さんとそのご家族が安心して出産を迎えるよう、温かいケアを提供しています。病室として 4 人部屋 4 室、個室 9 室があり、LDR(Labor (陣痛) · Delivery (分娩) · Recovery (回復) は 3 室あります。また、同フロアには NICU(新生児集中治療室) があり、常に連携を取っていますので安心して入院していただけます。



助産師からのメッセージ

出産方法は人それぞれですが、「自分らしいお産をしたい」「分娩中もリラックスして過ごしたい」といった理由から、無痛分娩を選ぶ方が増えています。当センターでは、出産の痛みを軽減し、安心して出産を迎える選択肢として無痛分娩を提供しています。また、妊娠期から助産師相談外来にて出産を迎えるための総合的なサポートを提供しています。助産師が一人ひとりの妊婦さんに寄り添い妊娠中から産後までのケアを行っていますので、安心して出産していただくことができます。

無痛分娩は
「選べる出産」
のひとつ

無痛分娩は「痛みを和らげる」ことで出産をより安心なものにする方法です。ただし、それは決して「楽をするお産」ではなく、あくまで母子の安全と快適さを優先した選択肢の一つです。ぜひ、正しい知識を持ち、最適な出産方法を選んでください。

竹田寛先生「お別れの会」を 執り行いました

地方独立行政法人桑名市総合医療センター理事長 竹田寛 儀

令和6年7月25日午前0時51分75歳をもって永眠されました

ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

なお葬儀は故人及びご家族の意向で近親者のみで相済ませました

3ヶ月前



「お別れの会」が開催されるまでの約3ヶ月間
入院棟1階へ献花台を設置。
たくさんのメッセージをお寄せいただきました。
いただいたメッセージはご家族様へお渡しさせて
いただきました。

入院棟1階へ献花台を設置



当日

約600名の方に、ご参列いただきました。

午前中には、白石理事長による「式文」、桑名市長による「代表弔辞」等がありました。

また、ピアノ献奏や献唱、職員によるビデオレターなどが放映されました。

午後には、親族によるご挨拶があり、その後献花式が行われました。



「お別れの会」へご参列いただいた皆さま、ありがとうございました。

シリーズ

新人看護職員 教育特集

Vol.2

入職半年を振り返って

入職後半年が経った新人看護職員を対象に、6ヶ月間を振り返る会を9月20日開催しました。今後も引き続きチームとして活躍してもらうと共に、また1人で物事を抱え込まないよう、半年間頑張ってきたことの確認や、今のことについての希望や不安についてみんなで話し合いました。新人看護職員のみなさんの不安な気持ちが少しでも減るよう、今後も看護部一丸となって取り組んでいきます。



Q
入職して成長したと
思うことは何ですか？

A

- 1位 時間管理ができるようになった
- 2位 出来る看護業務が増えた
- 3位 報連相（報告・連絡・相談）を意識するようになった



- 多くの業務を習得しながら、夜勤も出来るようになり、日々頑張っている姿を頼もしく思っています。(30代リーダー看護師)
- 忙しい中、日々の業務を行い、時間管理をしながら行動することができるようになってきたと思います。一人で出来ることもたくさん増え、一緒に働いていると日々成長を感じます。これからも一緒に成長していきましょう。(20代学生指導者)

Q
最近業務で
悩んでいることは何ですか？

A

- 1位 優先度の高い業務（多重課題*）が重なった時の対応
- 2位 緊急時に動くことができません…
- 2位 疲労が取れません…
- 3位 医師との報連相



*多重課題とは、看護師が日常において、2つ以上の業務を同時に遂行することを求めらることを指します。例えば、輸液ポンプのアラーム対応中に、他の患者さんの検査や処置の対応が重なったり、患者さんの清潔ケアを行っている時に、他の患者さんからの対応を求められるなど、様々な場面があります。

●業務の中で不安に感じたことは、一人で抱えず、先輩に沢山相談しても良いと思います。2年目になった今でも不安に感じることは多くありますが、一緒に頑張りましょう(2年目看護師)



●1年目の到達目標は「指導のもと出来る」です。一人で判断せず、報連相をどんどんていきましょう。また、仕事と休みのON・OFFは大切です。休みはしっかりと遊びを楽しみましょう。そして休みの予定を楽しみに仕事を頑張る！！おすすめです！(40代主任)

●悩み事は一人で抱え込み、誰かに話せるようになると楽になります(すぐには難しいですが大丈夫！)。その為にはコミュニケーション力が大切であり、看護においても大切なスキルの一つだと言われています。今ある悩みは、半年後、一年後にはきっと解決していると思います。これからも前へ進んでいくのみです！頑張りましょう！(40代リーダー看護師)

多重課題 シミュレーション研修を 開催しました！



今後の課題は何ですか？

Q

- A
- 1位 報連相の徹底
 - 2位 多重課題への対応
 - 2位 優先順位の判断を的確に行う
 - 3位 知識や技術を身につけられるよう、自己学習する



新人看護師の多くが悩んでいる「多重課題」について、臨床現場で起こっている実際の出来事を模擬体験し、その対応方法を学んでもらうためのロールプレイング型研修会を開催しました。

主な患者設定は以下の通りです。患者役は教育委員会のベテラン看護師です。事前に設定した細かなシナリオをもとに、新人看護師たちに様々な課題を与えていきます。何も知らない新人看護師は無事に課題を乗り切ることができるのか！？結果は次号で詳しく紹介します。

患者 A 60歳、理解力に問題なし、
胆嚢炎（初入院）、日常生活動作（ADL）問題なし、翌日退院予定

患者 B 80歳、理解力に難あり、
骨折（手術済）、日常生活動作（ADL）見守り必要

患者 C 65歳、理解力に問題なし、
急性胃腸炎、末梢輸液あり、日常生活動作（ADL）問題なし

患者 D 90歳、理解力にやや問題あり、
肺炎、酸素投与中、痰の吸引を適宜実施



●毎日忙しくて大変だと思いますが、入職して半年で出来ることが沢山増えたと思います。自信を持つためには、知識や技術の向上、何より経験が大切です。他の人より得意だと思えることが、自分の強みになるような学習に繋げていくことができると嬉しいです（30代副師長）

●経験は何よりの財産です。色々なことを見て聞いて経験してください。それらは様々な場面で役に立つはずです。これからも一緒に頑張りましょう（40代主任）

●様々な疾患の患者さんの対応では、多重課題などがあり大変だったと思います。半年間で知識や出来る技術が増え、報連相が出来るようになったと思います。これからも新たな多重課題や場面に悩んだりすることもあると思います。色々経験し、自分に出来ることや知識を増やし、頑張ってください。悩むことがあれば、迷わず相談してください（20代プリセプター）

最新のデジタルマンモグラフィーを導入しました。

乳がんの早期発見がとても大切なことはみなさんご存知かと思います。乳がん検診の基本は視診・触診、そしてマンモグラフィ(乳房X線検査)です。桑名市総合医療センターでは、最新のマンモグラフィ装置とバイオプシー装置を導入しましたのでご紹介します。

高精細画像を抽出

今回導入されたマンモグラフィ装置AMULET SOPHINITYでは、最小画素サイズを $50\mu\text{m}$ に設定することにより、微小石灰化などの病変も高精細に描出することができるようになりました。また、信号強調とノイズ抑制を同時に行う機能も搭載しています。

優れた検出性能

デジタルトモセンシステクノロジーにより、圧迫された乳房を短時間でスキャンし、複数の角度から画像を3次元で撮影(3D撮影)することができます。従来の技術では、厚い乳腺の場合には乳腺全体が白く写ってしまい、しきりに気付けないものもありましたが、この技術によってしきりの確認が可能になりました。



Gallery ギャラリー

絵画等がたくさん飾られているのはご存知ですか？

院内には、寄贈いただいた絵画などがたくさん飾られています。Galleryでは、竹田前理事長によるそれらの作品紹介をシリーズで掲載してきましたが、前理事長の死去に伴い、今回をもってシリーズは終了することとなりました。これまで本シリーズをご愛読いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。今後も展示は継続いたしますので、引き続き院内ギャラリーをお楽しみください。

まよかず
伊藤清和画伯は、1952年三重県生まれの洋画家で、現在津市に在住です。愛知県立芸術大学を首席で卒業され、その後大学院(油画専攻)を修了されました。これまでに数多くの個展を開催されており、海外でも作品を発表されています。画題は富士山や海外のシンボル的な風景、動物や昆虫など幅広く、和紙に墨や岩絵の具、水干絵の具など日本画の画材を用いた作品も手がけています。今回寄贈いただいた「輝き」「秋の宵」「赤富士」の3点は、金箔と油絵が見事に融合し、ジャンルを超えた挑戦を続ける伊藤画伯の真骨頂と言える作品です。デフォルメされた鳥の躍動感、意思を感じさせるような目の力強さ、色とりどりの葉の下で存在感を示す虫たちの生命力、富士の雪の清純さが放つエネルギーなど、それぞれの作品から力強い生命力が伝わってきます。



「秋の宵」F15号 油彩



「赤富士」F15号 油彩

独立展「独立賞」や中日展「中日大賞」、第33回ふるさと三重文化賞など、数々の賞を受賞されています。現在は、三重県洋画協会理事、津文化協会副理事長などの要職を務めながら、地元で絵画教室を開き、絵画文化の振興にも尽力されています。(文責、後藤)



「輝き」F30号 油彩



一緒に働きませんか?

STAFF募集中

助産師

正規職員・臨時職員

看護師

正規職員

薬剤師

正規職員

社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)

正規職員

介護福祉士

正規職員

看護助手

正規職員・臨時職員

医師事務作業補助

臨時職員

視能訓練士

臨時職員

臨床放射線技師

臨時職員



詳細については
WEBをご覧ください。

お問い合わせ先

桑名市総合医療センター 監理課人事係

TEL: 0594-22-2015

お詫び

すでに報道されておりますとおり、当センターに勤務する職員が内服薬などを患者さまへ投与せず、自身のロッカーへ隠していたことが判明しました。被害に遭われた患者さまだけでなく、皆さまの信頼を損なうことになり、深くお詫び申し上げます。今後、このようなことが無いよう、再発防止に取り組んで参ります。

桑名市総合医療センター理事長 白石泰三